

平成 28 年 2 月 25 日

会 員 各 位

鹿児島県経営者協会
地域活性化委員長 中村 耕治

「第 3 回地域活性化委員会」開催について（ご案内）

拝啓 向春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、方言は昔からその地域に受け継がれてきた伝統であり、言葉の文化でもあります。鹿児島弁はとくに独特な特徴を持つと言われておりますが、様々な情報化が進むにつれ標準語を耳にすることが増えたため、近年は若者や子供達の方言離れが進んでおり衰退していくことが危惧されています。

このような中、鹿児島弁検定や鹿児島弁による観光おもてなし隊の発足などの試みは、鹿児島弁を継承し守っていくだけでなく、方言を活用した一つの地域づくり、また地域の振興・活性化を図っていく機会になるのではと期待がかかっています。

そこで今回は、54 年間かけて約 5 千の集落に足を運び、鹿児島方言大辞典の著者である橋口先生をお招きし、鹿児島弁の歴史や地域活性化などについてお話を伺います。

会員の皆様には、ご多忙のところ恐縮に存じますが、多数のご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。（複数の参加も可能です）

敬具

記

日 時 平成 28 年 3 月 22 日（火） 13 時 30 分～15 時

場 所 ホテル・レクストン鹿児島 / フリージア（2 階）

（鹿児島市山之口町 4-20 TEL099-222-0505）

テーマ 「かごしま弁史から読み解く地域活性化とは」

* 講演要旨は別紙のとおり

ゲスト NPO 法人「残していきたいかごっま弁」 理事長 橋口 満 氏

鹿児島県経営者協会（ご回答は、Fax 099-225-0402 にて、お願いします。） （28-3-22）

第 3 回地域活性化委員会 出欠通知

* 出席します（含代理）

* 欠席します

会社名

ご氏名

ご氏名

（ネームカードを準備しますので、ご変更の場合は、事務局までご連絡下さい。）

鹿児島市名山町 1-3-82 鹿児島ビル TEL 099-222-3489 Fax 099-225-0402

[要 旨]

1. はじめに
2. かがしま弁の古代
3. かがしま弁の近世
4. 島津氏とかがしま弁
5. かがしま弁からみる薩摩文化
 - ・文化の基層を成す音読
 - ・言語を疎かにした文化は滅びる
6. 標準語教育の徹底と方言蔑視の歴史
 - ・明治期～昭和期と方言札
 - ・失われてしまった薩摩の方言文化と独自性
 - ・実は美しく重厚なかがしま弁
 - ・日本の国語史にとっての掛け替えのないかがしま弁
7. PR下手の鹿児島県人
8. 上っ面だけのもてなしと地域活性化
9. 保守と革新の両面を合わせ持つ鹿児島県人
10. 全国画一化を直走る鹿児島県人
 - ・かがしま弁をなぜ活かさないのか
 - ・言語を愛することは地域を愛すること
 - ・埋蔵文化、歴史遺産の多い鹿児島県
11. 真の地域活性化とは
 - ・温故知新
 - ・活性化の素材は足許から
 - ・かがしま弁を見直そう
12. 消滅の一途を辿るかがしま弁
 - ・消滅の危機に瀕するかがしま弁
 - ・存続し続ける関西弁
13. 歴史に学ぶことと地域活性化